

SAMSUNG

SAMSUNG

ELECTRONICS

DVD

VIDEO

DVD PLAYER
DVD-S228J

JP

AK68-00015J

安全上の注意

1. お使いになる前に

家庭でお使いの電源と本体のステッカーの表示内容が合うかどうか確認の上でご使用ください。換気（7~10センチ）のために本体の周りに十分なスペースをとり、しっかりとした台（家具など）の上に水平に本体を置いてください。通風孔が塞がれていないか確認してください。本体の上に何も置かないで下さい。本体が熱くなるようなアンプや他の機器を本体の上に置かないで下さい。本体を移動する際には、必ず本体からディスクを取り出して下さい。本体は連続使用できるように設計されています。長期間使用しない場合は安全および節電のためコンセントから電源プラグを抜いてください。

2. 注意

湿気や加熱を避け、本体を水気がかかるような場所、強い磁気がある場所、高熱の場所、電気が発生する場所から遠ざけてください。故障した場合はコンセントから電源プラグを外してください。本体は業務用ではなく家庭使用を目的として製造されています。本体の使用は個人使用のみにお使いください。プレーヤーやディスクが寒いところから急に暖かいところへ移動すると、内部に露が発生し、正常に動作しないことがあります。電源を入れたまま約2時間すれば正常な状態に戻ります。

3. 警告

本体を分解しないで下さい。人体や本体に対し危険です。感電したりレーザービームに接触する恐れがあります。目に危険なのでディスクトレイやプレーヤーの中をのぞきこまないでください。

4. ディスクの取り扱い

ディスクの取り扱いには注意してください。ディスクの取扱いは中央と端を持ってください。ラベルを上向きにして（片面ディスクの場合）ディスクを置いて下さい。付着した汚れは柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭きとるようにして下さい。使用後はディスクをディスクケースに入れて所定の位置に垂直に立てて保管してください。ガイドがついたトレイに正しくディスクを入れて保管してください。ディスクのお手入れにスプレー、ベンジン、静電気液体または他の溶剤などを使用しないでください。汚れがひどいときは柔らかい水気を含んだ布で拭いて下さい。再生中に雑音が生じる恐れがあるためディスクの表面を円を描くようには拭かないで下さい。

5. 乾電池

本体のリモコンで使用している電池には環境に有害な化学薬品が含まれています。使用済みの電池は一般家庭のゴミと一緒に捨てないで下さい。

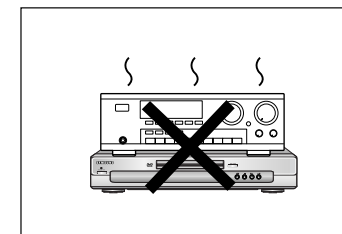
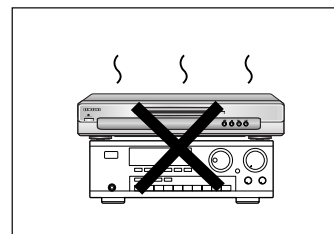
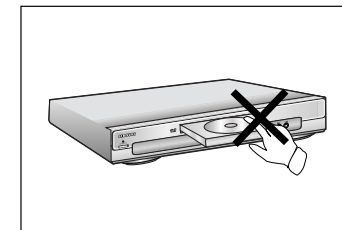
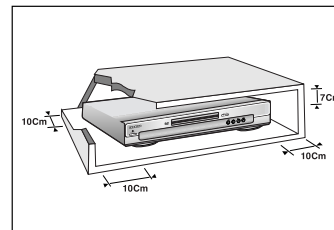
6. 本体のお手入れ

安全のために、コンセントから電源プラグを抜いてください。

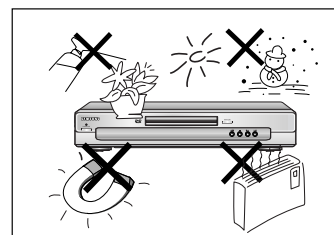
- お手入れの際に薄いベンゼンまたは他の溶剤を使わないでください。
- 柔らかい布で本体を拭いてください。

安全上の注意

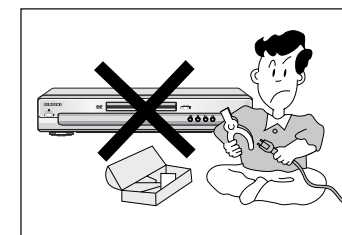
1



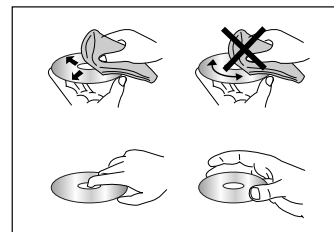
2



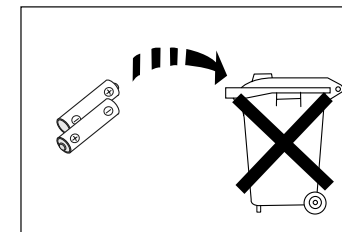
3



4



5

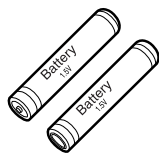


ご使用になる前に

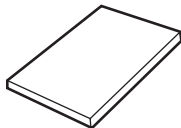
アクセサリ



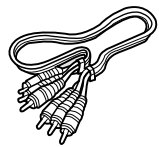
リモコン



リモコンの単3電池



取扱説明書



ビデオ/オーディオケーブル

単3電池の装着

- 1 リモコンの背面にある単3電池カバーを開けます。
- 2 電極(+、-)を合わせて、2個の単3電池を入れます。
- 3 単3電池カバーを閉じます。

リモコンが正常に作動しない場合

- 単3電池の電極(+、-)を確認します。
- 単3電池の寿命を確認します。
- 障害物がリモコンの受光部をさえぎっていないか確認します。
- 近くに蛍光灯がないか確認します。

目次

設定

主な特徴	6
取扱いのご注意	7
再生できるディスクの種類	8
各部の名称とはたらき	10
本体背面	11
リモコン	12

接続

AV機器とつなぐ	14
テレビとつなぐ	15

基本機能

準備	16
ディスクの再生	17
頭出しとスキップ機能	19
表示機能	20
リピート再生	21

応用機能

プログラム再生&ランダム再生	22
スクリーンフィット	23
スローリピート再生	24
ダイジェスト再生	25
ディスク表示画面	26
音声言語の選択	27
字幕言語の選択	28
カメラアングルの変更	29
ちょっと戻し機能	30
マーカー機能	31
ズーム&3Dサウンド機能	32
MP3再生時の注意事項	33

設定メニューの変更

設定メニュー (初期設定)	35
言語設定	36
パレンタルの設定	38
音声設定	39
画面設定	40

参照

故障かな?と思ったら	41
用語説明	42
保証書	44
保証書とアフターサービス	45

設定

接続

基本機能

応用機能

設定メニューの変更

参照

主な特徴

音声言語が選択できます。

DVDに収録された複数の音声言語からお好みの言語を選択することができます。(27ページ)

字幕言語が選択できます。

DVDに収録された複数の字幕言語から選択することができます。(28ページ)

アングルを選択することができます。

DVDに収録された複数のアングルからお好みのアングルを選択することができます。(29ページ)

ズーム機能搭載

お好みの場所をズームアップして見ることができます。(32ページ)

D1映像出力を装備

DVDに記録される輝度(Y)信号と色差(Pb/Pr)信号をダイレクトに出力するD1映像出力を装備。テレビ側にD1入力端子が装備されている場合は、この端子を使用することによりさらに鮮明な映像を引き出します。(D1端子ケーブルは付属していません。)

迫力あるサウンドが味わえるドルビーデジタル/DTS対応

5.1チャンネルで収録された映像/音楽ソフトを臨場感豊かに再現します。

注：ドルビーデジタル/DTSを楽しむためには別途対応アンプや光デジタルケーブル、スピーカー等が必要です。

注意

- マルチセッションのディスク上に欠陥(ブランクデータ)があると再生に問題が生じる場合もあります。
- 可変転送レート方式で32kbps～320kbpsで記録されたディスクでは音が歪む場合もあります。
- ディスクの収録状態によっては上記の機能が実行できない場合もあります。

取扱いのご注意

■ 再生中は本機を絶対に動かさない

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を動かすと中のディスクを傷つけたり、内部部品を傷めたりする恐れがあります。

■ 移動する時

本機を移動する時は、中のディスクを必ず取り出し、ディスクトレイを閉じて下さい。

■ 設置方法

- 安定した場所を選び水平に設置して下さい。縦置は出来ません。又、上に物を乗せないで下さい。
- 磁気の影響を受けやすいテレビやカセットデッキ等からはなるべく離して設置して下さい。
- 熱を発生するアンプ等の機器の上へのせないで下さい。
- ガラスドア付ラックに入れた時は、ガラスドアを開けたままりモコンの開/閉ボタンを押さないで下さい。

■ お手入れについて

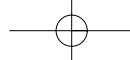
柔らかい布で空拭きして下さい。汚れがひどい時は5～6倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布をひたして絞った後、汚れを拭きとって下さい。その他の化学薬品やアルコール等を使用すると、印刷や塗装がはげることがあります。

■ 著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、レンタル、公開演奏することは法律により禁じられています。
- 本製品には、Macrovision Corporationとその他が所有している知的財産権とアメリカの特許によって保護されている著作権保護技術が組み込まれています。著作権保護技術を使用するためには、Macrovision Corporationの許可が必要です。そして、Macrovision Corporationの許可がない限り、家庭と制限された視聴のみに限ります。変更や分解は禁止されています。

■ コピーガード

本機はコピーガードに対応しているため、本機をビデオデッキやビデオ一体型テレビに接続し、録画して再生すると正常な再生画面が映らない場合があります。



再生できるディスクの種類

- 本機は下表のディスクを再生することができます。
- 下表に表示されているマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。
- 本機はNTSC (日本のテレビ方式) に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用下さい。
- ヨーロッパなどのテレビ方式(PAL, SECAM)用のディスクは再生できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVD ビデオ 	DVD ビデオ 12cm/片面	(MPEG 2 方式) 1層 133分 2層 242分
	12cm/両面	1層 266分 2層 484分
	DVD ビデオ 8cm/片面	(MPEG 2 方式) 1層 41分 2層 75分
	8cm/両面	1層 82分 2層 150分
ビデオCD 	ビデオCD 12cm/片面	(MPEG 1 方式) 74分
	ビデオCD 8cm/片面	(MPEG 1 方式) 20分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CD シングル 8cm/片面	20分

下記のディスクは再生できません。(下記以外のディスクでも再生できないことがあります。)

- DVD-ROM・DVD-RAM・DVD-AUDIO、
- DVD-R・DVD-RW・CD-ROM・フォトCD、SVCD
- リージョンコードが本機と異なるDVDソフト(本機のリージョンコードは②です。)

これらのディスクを再生することはできません。誤って再生すると、ノイズが発生することがあります。また、発生したノイズによってスピーカーを破損することがあります。CD-G、CD-EXTRA、CD TEXTの場合、音声のみ再生できます。

<お知らせ>

- DVDビデオおよびビデオCDはソフト製作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト製作者が意図したディスク内容に従って再生をしますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。

再生できるディスクの種類

■ DVDに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージには以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークはそのディスクに記録されている映像または音声のタイプ、使える機能を表わしています。

マーク	意味
	音声の数を表わします。
	字幕言語の数を表わします。
	アングル数を表わします。
	選択可能な画像アスペクト比を表わします。
	再生可能な地域番号を表わします。 本機は地域番号「2」が含まれているディスク、または「ALL」と表記されたディスクの再生ができます。
	アメリカ、カナダ、韓国、日本などのNTSC放送システム
	ドルビーデジタルディスク
	ステレオディスク
	デジタルオーディオディスク
	DTS ディスク
	MP3 ファイルが含まれるディスクの再生もできます。

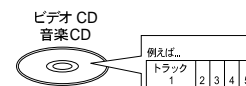
設定

■ ディスクに関する用語の意味

- **タイトル (DVD)**
例えば、2本の映画が収録されたディスクは、タイトル1、2と番号で分けられています。
- **チャプター (DVD)**
タイトルをさらに区切ったものです。



- **トラック (ビデオCD/音楽CD)**
例えば、5曲の音楽が収録されたディスクは、トラック1、2、3、4、5と番号で分けられています。



■ ディスクの取扱い

- ディスクの表面にふれたり、文字を書いたりしないでください。ディスクに付いたほりやごみ、指紋はやわらかい布で拭いてください。必ず内から外へ拭いてください。



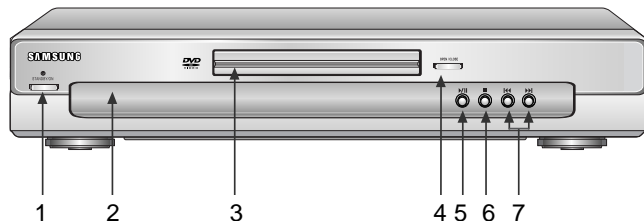
- よごしたり、傷つけたりしないでください。
- 直射日光の当たるところや、温度、湿度の高いところに置かないでください。
- 落としたり、曲げたりしないでください。
- CD用スタビライザーを使用しないでください。
- 保管するときは、専用のケースに入れてください。

ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。

各部の名称とはたらき

本体背面

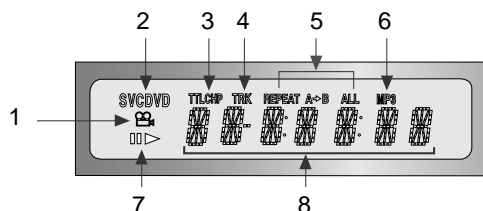
本体正面



前面パネルでの操作

- STANDBY/ON**
 - 電源をON/OFFします。
 - スタンバイ(待機)時に赤色ランプが点灯します。電源ON時には赤色ランプが消灯します。
- 表示窓**
 - 動作状況を表示します。
- ディスクトレイ**
 - OPEN/CLOSE ボタンでディスクトレイを開閉します。
- OPEN/CLOSE**
 - ディスクトレイを開/閉するときに押します。
- PLAY/PAUSE**
 - 再生を開始したり、一時停止するときに押します。
 - 再生中にこのボタンを押すと静止画になります。もう一度押すと再生を開始します。
- STOP**
 - 再生中の映像や音声を止めます。
- SKIP**
 - 映像や音声をスキップします。

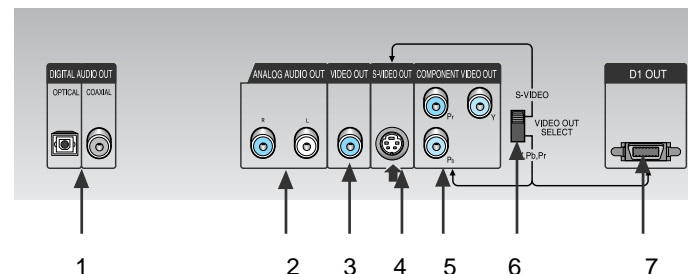
本体表示窓



前面パネルの表示

- DVD 再生時、アングル変更が可能になるときに点灯します。(29ページ)
- 本機内部に入っているディスクの種類を表示します。
- DVD: タイトル番号、チャプター番号を表示します。
- CD/VCD: トラック番号を表示します。
- リピート再生を選択したときに点灯します。
- MP3 ディスクの再生時に点灯します。
- 本機の動作状態を表示します。
- 経過時間や操作関連のメッセージ等を表示します。
no DISC : ディスクが入っていません。
OPEN/CLOSE : ディスクトレイを開きます/閉じます。
LOAD : ディスクの情報を読み出しています。
MENU : ディスクに収録されているメニュー画面を表示しています。

本体後面



背面パネル

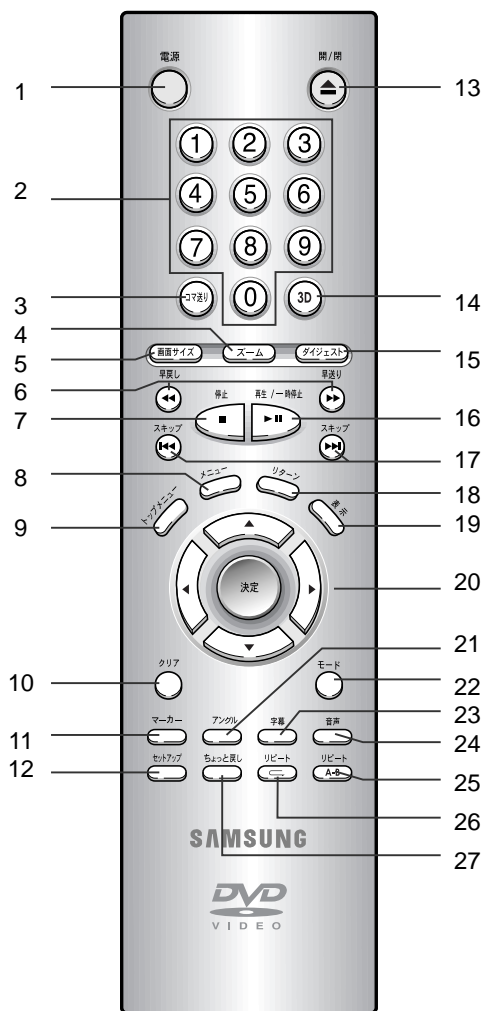
- DIGITAL AUDIO OUT**
デジタル出力端子 (同軸/光)
 - 光ケーブルや同軸ケーブルを使って、ドルビーデジタルやDTS デコーダーを内蔵したアンプに接続します。(14ページ)
- ANALOG AUDIO OUT JACKS**
アナログオーディオ出力ジャック
 - お使いのテレビ、オーディオビデオ、受信機、またはVCRのオーディオ入力ジャックに接続します。
- VIDEO OUT**
映像出力端子
 - 付属のビデオケーブルを使用してテレビのビデオ映像入力端子に接続します。
- S-VIDEO OUT**
S映像出力端子
 - S映像入力端子のあるテレビに接続するときに使用します。
 - この端子を使用するときは @VIDEO OUT SELECT スイッチをS-VIDEO側にします。
- COMPONENT VIDEO OUT**
コンポーネント映像出力(Y/Pb/Pr)端子
 - コンポーネント映像入力端子のあるテレビ等と市販のコンポーネント映像ケーブルを使用して接続します。この端子を使用するときは @VIDEO OUT SELECT スイッチをY, Pb, Pr (コンポーネント)側にします。
- VIDEO OUT SELECT**
映像出力切換スイッチ
接続する映像出力端子を切り換えます。(S-VIDEO OUT/ Y, Pb, Pr)
- D1-VIDEO OUT**
テレビやモニターなどにはD1端子が付いているものがあります。
この端子に接続すると、より高画質な映像が楽しめます。
この端子を使うときはVIDEO OUT SELECT スイッチをY, Pb, Pr に切り換えてください。

注意

・VIDEO OUT SELECT スイッチは停止または電源がオフの状態でも切り換えてください。

リモコン

リモコン



DVD 機能ボタン

1. **DVD電源ボタン**
 - 電源をON/OFFします。
2. **番号ボタン**
3. **コマ送りボタン**
 - 1度押すと一時停止します。繰り返し押すたびにコマ送り再生します。
4. **ズームボタン**
 - お好きな箇所をズームアップすることができます。(32ページ)
5. **画面サイズボタン** (23ページ)
6. **早送り/早戻しボタン**
 - 映像や音声を早送り/早戻しします。
7. **停止ボタン**
 - 映像や音声の再生を止めます。
8. **メニューボタン**
 - DVDソフトのメニュー画面を呼び出します。
9. **トップメニューボタン** (33ページ)
 - DVDソフトの最上層のメニュー画面を呼び出します。
10. **クリアボタン**
 - メニュー画面などの表示を消します。
11. **マーカーボタン** (31ページ)
12. **セットアップ**
 - 本機の設定画面を表示します。
13. **開/閉ボタン**
 - ディスクトレイを開閉するときに押します。
14. **3Dサウンドボタン** (32ページ)
15. **ダイジェストボタン** (24ページ)
16. **再生/一時停止ボタン** (17ページ)
 - ディスクを再生したり、一時停止するときに押します。
17. **スキップボタン**
 - 場面や曲の頭出しをします。
18. **リターンボタン**
 - メニュー画面で前の項目に戻ります。
19. **表示ボタン**
 - ディスクの情報を表示します。
20. **決定ボタン(上/下または左/右ボタン)**
 - このボタンは選択/決定ボタンとして機能します。
21. **アングルボタン** (30ページ)
 - DVDのアングルを切替えます。
22. **モードボタン** (22ページ)
 - DVDではタイトルやチャプター、CDではトラックを順不同に再生します。
23. **字幕ボタン** (28ページ)
24. **音声ボタン** (27ページ)
 - ディスクの様々なオーディオ機能にアクセスします。(24ページ)
25. **リピートA-B**
 - 再生中にこのボタンを押すと指定したA-B間を繰り返し再生します。
26. **リピートボタン** (21ページ)
 - DVDではタイトルやチャプターを繰り返し再生します。
CDではトラックやディスク全体を繰り返し再生します。
27. **ちょっと戻しボタン**
 - 再生中にこのボタンを押すと、押した時点から10秒前に戻って再生します。

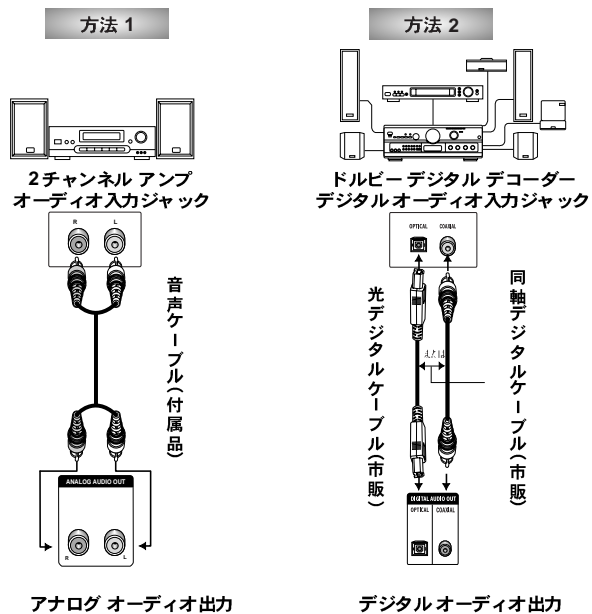
AV機器とつなぐ

以下は、テレビやその他の装置にDVDプレーヤーを接続する時、一般的に使われている接続の例です。

DVDプレーヤーを接続する前に

- ・ケーブルを接続したり、外したりする場合は、DVDプレーヤー、TVまたはその他の装置の電源を消してください。
- ・特定装置に関する詳細な情報は、装置に添付されたマニュアルを参照してください。

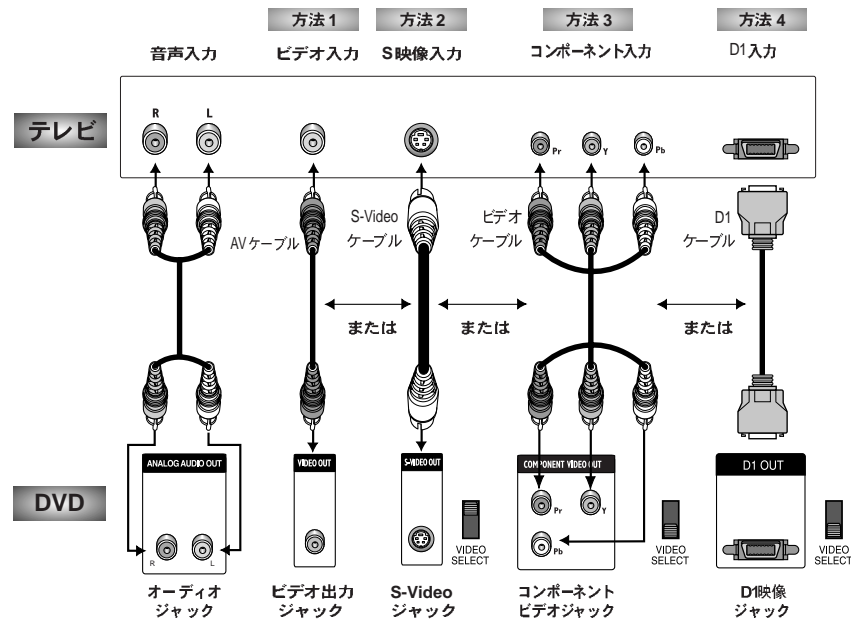
オーディオシステムとの接続



テレビとつなぐ

テレビ(ビデオ対応)との接続

ご使用のテレビ(標準、大画面、プロジェクションなど)との接続方法です。



- ・方法1 ビデオ入力ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。
- ・方法2 S映像入力ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(本機背面のVideo Out SelectスイッチでS-Videoに切換えます)
- ・方法3 コンポーネントビデオジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(本機背面のVideo Out SelectスイッチでY、Pb、Prに切換えます)
- ・方法4 D1映像ジャックでDVDプレーヤーとテレビを接続します。(本機背面のVideo Out SelectスイッチでY、Pb、Prに切換えます)

参考

- ・コンポーネントが選択された場合は、S-Videoが作動しません。
- ・S-Videoを選択した場合は、コンポーネントが作動しません。
- ・本機の映像出力は直接テレビにつないでください。本機をビデオデッキ又は、ビデオ一体型テレビを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生するとコピーガードが働き、正常な画像が得られません。

準備







映像の縦横比を選ぶ

本機と接続したテレビにあわせて、画面の比率（アスペクト比）を合わせます。DVDソフトの多くは16：9の比率で収録されています。このソフトを従来の4：3テレビで見ると映像が縦長になってしまいます。このような見えかたをなくすために、4：3テレビをお使いの場合は、次の設定を行ないます。

- 1 再生していない状態でリモコンの「セットアップ」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンで“画面設定”を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 「▲▼」ボタンで“TV画面形状”を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 4 「▲▼」ボタンで設定したい画面形状を選び「決定」ボタンを押します。
 - 4：3（レターボックス）：従来サイズ（4：3）のテレビと接続し、レターボックス方式で見たいときに選択します。
 - 4：3（パンスキャン）：従来サイズ（4：3）のテレビと接続し、パンスキャン方式で見たいときに選択します。
 - 16：9（ワイド）：ワイドテレビ（16：9）と接続したとき選択します。
- 5 「セットアップ」ボタンを押して終了します。

従来サイズ（4：3）テレビにおける映像の見えかた

参考

DVDに収録されている映像	本機の設定	映像の見えかた
16：9 	4：3（レターボックス）	 上下に帯が付きませんが正しく見えます。
	4：3（パンスキャン）	 画面の左右の映像が切れますが正しく見えます。このように見たくない場合は4：3（レターボックス）を選択して下さい。
	16：9（ワイド）	 縦長に見えます。このように見える場合は4：3（レターボックス）か4：3（パンスキャン）を選択して下さい。
4：3 	4：3（レターボックス） 4：3（パンスキャン） 16：9（ワイド） どの設定でも	 正しく見えます。

お知らせ

- 画面形状の切り換えが出来るか出来ないかはディスクによって異なります。詳しくはディスクのジャケットを確認して下さい。
- この設定は再生中には変更できません。

ディスクの再生

再生する前に

初めて使用するとき本機の電源ボタンを押すと、この画面が表示されます。

- 日本語にするときは1番を押します。
- 英語にするときは2番を押します。

本機のメニュー言語が選択されます。

日本語にするには 1 をおして下さい
Press 2 for ENGLISH

再生

- 1 「開/閉」ボタンを押します。
「スタンバイ」表示灯が消えて、トレイが開きます。
- 2 ディスクのラベルの面を上にして、トレイに置きます。
- 3 「再生/一時停止」ボタンや「開/閉」ボタンを押して、ディスクトレイを開けます。
ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。その場合はリモコンの「▲▼」ボタンで項目を選び「決定」ボタンを押します。
- 4 再生を止めるときは再生中に「停止」ボタンを押します。
- 5 ディスクを取り出すときは「開/閉」ボタンを押します。
- 6 一時停止をするときは再生中にリモコンの「再生/一時停止」や「コマ送り」ボタンを押します。
 - 画面と音が一時停止します。
 - 元に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンをもう一度押します。

ディスクの再生

7 コマ送り再生(CDを除く)をするときは、「コマ送り」ボタンか「再生/一時停止」ボタンを押して再生を一時停止した後、「コマ送り」ボタンを押します。

- 「コマ送り」ボタンを押す度に新しい映像が表示されます。
- 再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。(静止画面の再生は前の方向にしかできません。)


8 スローモーション再生(CDを除く)

- 「再生/一時停止」か「コマ送り」ボタンを押して再生を一時停止します。
- 「早送り/早戻し」ボタンを押してスローモーション再生速度(1/8、1/4、1/2)が選択できます。
- スローモードでは音が聞こえません。
- 普通の再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。
- スローモーションの逆再生はできません。

リジューム機能

ディスクの再生を停止した場合、プレーヤーが停止した場所を覚えて、再び「再生」ボタンを押せば停止した場所から再生する機能です(ディスクを取り出したり、プレーヤーのプラグを抜いたりした場合はできません)。

参考

- 一時停止モードで5分が過ぎると、プレーヤーは停止します。
- 停止状態で約30分を過ぎると、電源が自動的に切れます(自動電源切断機能)。
- 使用者の操作がなく1分以上停止状態が続くと、画面保護機能が働き、テレビの画面が明るくなったり、暗くなったりします。再生に戻る場合は、「再生」ボタンを押します。
-  マークのアイコンは押したボタンが無効であることを意味します。

頭出しとスキップ機能

再生中に、チャプターやトラックを検索したり、スキップ機能で次の選択まで飛ばすことができます。

チャプターやトラックの検索

1 再生中にリモコンの「早送り」や「早戻し」ボタンを押します。

- リモコンの「早送り」や「早戻し」ボタンを2回押して、好みの速度(2X/4X/8X/16X/32X/128X)でDVDを検索します。

DVD	2X, 4X, 8X, 16X, 32X, 128X
VCD	4X, 8X
CD	2X, 4X, 8X

- 一般速度の再生に戻る場合は、「再生/一時停止」ボタンを押します。

チャプターの頭出し

1 再生中に「◀◀スキップ」や「▶▶スキップ」ボタンを押します。

- DVDの再生中に「▶▶スキップ」ボタンを押せば、次のチャプターへ移動します。「◀◀スキップ」ボタンを押せば、チャプターの最初へ移動します。前のチャプターの最初へ移動する場合はもう一度ボタンを押します。
- 「メニューオフ」モードのVCD 2.0、VCD 1.1、またはCDを再生中に、「▶▶スキップ」ボタンを押せば、次のトラックに移動します。「◀◀スキップ」ボタンを押せば、トラックの最初へ移動します。前のトラックの最初へ移動する場合はもう一度ボタンを押します。
- 「メニュー」モードやトラック表示機能でVCD 2.0を再生中に「▶▶スキップ」ボタンを押せば、次の「メニュー」や次のトラック表示画面へ移動します。「◀◀スキップ」ボタンを押せば、前の「メニュー」や前のトラック表示画面へ移動します(26ページ参照)。

表示機能

現在のディスクの再生状態を表示し、操作できる機能です。

DVD の再生中に

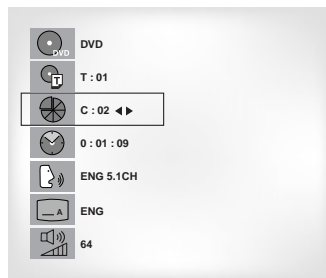
1 再生中にリモコンの「表示」ボタンを押します。

現在のタイトル、チャプター番号、経過時間、音声、字幕、音量調節が表示されます。

2 「▲▼」ボタンで設定したい項目を選択します。

- タイトルやチャプターの変更は「◀▶」ボタンや「番号」ボタンで再生したいタイトルやチャプター番号を選択して、「決定」ボタンを押します。
- 経過時間の項目では、「番号」ボタンを使って入力することによりお好みの再生したい開始時間を選択できます。時間を入力後、「決定」ボタンを押してください。
- 現在の音声、字幕、音量の変更は「◀▶」ボタンで変更して「決定」ボタンを押します。

3 画面を終了するときには、もう一度「表示」ボタンを押して下さい。



CD/VCD の再生中に

1 再生中にリモコンの「表示」ボタンを押します。

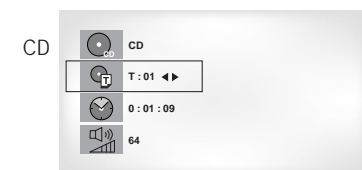
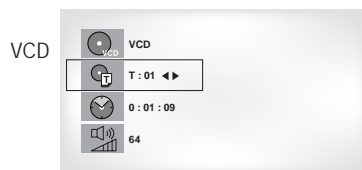
現在のトラック番号、経過時間、音量調節が表示されます。

2 「▲▼」ボタンで設定したい項目を選択します。

- 再生したいトラック「◀▶」や「番号」ボタン入力し「決定」ボタンを押します。
- 経過時間の項目では、「番号」ボタンを使って入力することによりお好みで再生したい開始時間を選択できます。時間を入力後、「決定」ボタンを押してください。
- 音量の変更は「◀▶」ボタンで変更して「決定」ボタンを押します。

3 画面を終了するときには、もう一度「表示」ボタンを押して下さい。

- VCD 2.0 (メニューモード)では、音量コントロールのみが表示されます。



参考

- チャプターとは?
DVD の各タイトルはチャプター別に分けられています(オーディオCDのトラックに似ています)。
- タイトルとは?
DVD にはいくつかの違うタイトルがあります。例えば、ディスクに4つの違う映画がある場合、各々の映画のタイトルと見なします。

リピート再生

現在のトラック、チャプター、タイトル、選択されたセクション(A-B)を繰り返し再生します。

DVD の再生中に

1 リモコンの「リピート」ボタンを押します。リピート再生選択画面が表示されます。

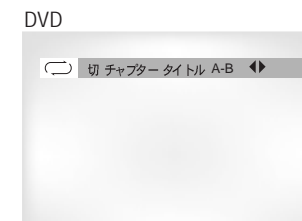
2 「◀▶」ボタンでチャプター、タイトル、またはA-B を選択します。

A-B のリピート再生について

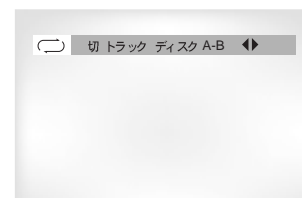
- 「リピート」ボタンを押します。「◀▶」ボタンで画面のA-B を選択するか、あるいはリモコンの「A-B」ボタンを使います。
- リピート再生を開始する地点で「決定」を押します(A)。B が自動的に反転されます。
- リピート再生を中止する地点で「決定」を押します(B)。
- リピート設定を解除しない限り、設定されたA-B を繰り返します。

3 「決定」を押します。

4 一般再生モードに戻るには、「リピート」ボタンを押して「◀▶」ボタンで「切」を選択するか、「クリア」ボタンを押します。



VCD/CD



参考

- DVD の場合はチャプターやタイトル毎に再生を繰り返します。CDやVCD の場合はディスクやトラック毎に再生を繰り返します。
- ディスクによってはリピート機能が使用できない場合があります。
- Bに到達する前にタイトルやトラックが終わった場合、タイトルやトラックの終りは自動的にBになります。
- VCD2.0 (「メニューオン」モード)モードの場合は、この機能が利用できません。

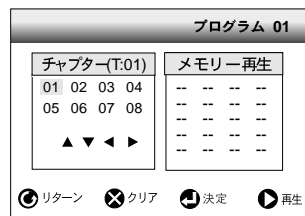
プログラム再生&ランダム再生

プログラム再生 (DVD/VCD/CD)

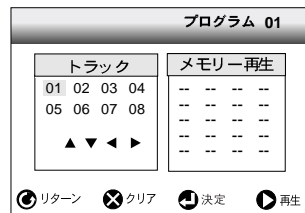
再生するトラックをお好みの順番に並べ替えて再生します。

- 1 「モード」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで「プログラム」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 「◀▶」ボタンでプログラムに追加する最初のチャプター(またはトラック)を選択し、「決定」ボタンを押します。番号が「メモリー再生」ボックスに表示されます。
- 4 「再生/一時停止」ボタンを押せば、プログラムされた順序でディスクを再生します。

DVD



VCD/CD



ランダム再生 (DVD/VCD/CD)

再生するトラックをプレーヤーがランダム(無作為)に再生します。

- 1 「モード」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで「ランダム」を選択し、「決定」ボタンを押します。

参考

- ディスクによってはプログラムとランダム再生が利用できない場合があります。
- VCD2.0 (「メニューオン」モード)モードの場合は、この機能が利用できません。
- 一般再生モードに戻る場合は、「クリア」ボタンを押します。

スクリーンフィット

スクリーンフィット

- 1 リモコンの「画面サイズ」ボタンを押します。

- 通常のTV(4:3)でワイドスクリーン(アスペクト比が16:9)の映画を再生しているときに、画面の上部や下部の黒い棒線を消去することが出来ます。
- ズームモード使用時は、このモードを使用できません。しかし、このモードを使用している時でもズームモードは使用できます。



参考

- 複数画面フォーマットディスクにのみ様々なアスペクト率が可能です。
- この機能はDVDが多数のカメラアングルフォーマットで録画されているときには作動しません。
- DVDによっては黒い棒線はアスペクト率により消すことができない場合もあります。

スローリピート再生

スポーツ、ダンス、楽器演奏などのシーンを、ゆっくりと繰り返して再生したいときに便利な機能です。

DVD をスローリピート再生するには

- 1 「再生/一時停止」ボタンを押します。
- 2 「早送り」ボタンを押してノーマルの 1/8X、1/4X、1/2Xの速度を選択します。
- 3 「リピート(A-B)」ボタンを押してスタートしたいポイントを選択します。(A)
- 4 「リピート(A-B)」ボタンを押して終了したいポイントを選択します。(B)

参考

- 選択した速度で A から B のみ繰り返し再生されます。
- 機能を終わらせるときは、「クリア」ボタンを押します。
- A-ポイントを指した後、通常速度（表示窓に示されるタイム）で4秒過ぎた時だけB-ポイントが明示されます。それまではBポイントを選択できません。

ダイジェスト再生

ダイジェスト再生

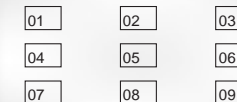
1 再生中に「ダイジェスト」ボタンを押します。

- テレビ画面に各シーンを表す 9 つの各ウィンドウが表示されます。
- 各ウィンドウが表示されているとき、シーンの最初の 3 秒間の内容が再生されます。

2 上/下/左/右のボタンを使用して見たいウィンドウを選択し、「決定」ボタンを押します。

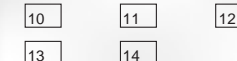
- 最高 9 つのシーンが一度に画面上に表示できます。映画が 9 つ以上ある場合、スキップボタンを押すと 9 つ目の次のシーンを見ることができます。

ダイジェスト



スキップボタン

ダイジェスト



参考

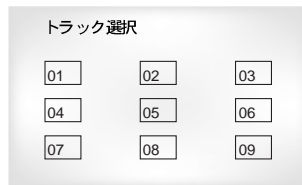
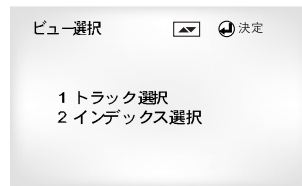
- 見たいシーンに直接移動してから再生することができます。
- ご使用になるディスクによってはダイジェスト機能が作動しない場合もあります。

ディスク表示画面

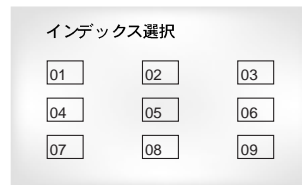
トラックビュー選択 (VCD)

各トラックとその番号の初期画面が表示されます。

- 1 再生中に「トップメニュー」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンで「トラック表示画面」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 「▲▼」や「◀▶」ボタンで表示する画面を選択します。
- 4 「決定」ボタンを押します。



(サンプル)



(サンプル)

インデックス選択 (VCD)

再生中のトラックを同等に分けた9画面に表示します。

- 1 再生中に「トップメニュー」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンで「インデックス」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 「▲▼」や「◀▶」ボタンで表示する画面を選択します。
- 4 「決定」ボタンを押します。

参考

- DVDで「トップメニュー」ボタンを押せば、「タイトルメニュー」が表示されます。ディスクにタイトルが少くとも2個以上なければ、「タイトルメニュー」は利用できません。
- CDで「トップメニュー」ボタンを押せば、「イントロ」モードに変わります。「イントロ」モードでは、各トラックの最初の部分を約10秒間再生します。
- 「ダイジェスト」ボタンを使用して操作することもできます。

音声言語の選択

「音声」ボタンで簡単に言語が選択できます。

「音声」ボタン

- 1 「音声」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンでDVDの言語を選択します。
• 音声と字幕の言語が略語で表示されます。
- 3 「▲▼」ボタンで「ステレオ」、「右」、または「左」を選択します(VCD/CD)。

DVD



VCD/CD



参考

- ディスクにエンコードされた言語によっては、利用できない場合もあります。
- DVDディスクでは最大8個の音声言語まで収録できます。
- 「DVDを再生する場合に使う言語の設定方法」は、ページ36の「言語設定」を参照してください。

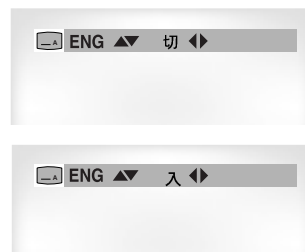
字幕言語の選択

「字幕」ボタンで簡単に字幕言語が選択できます。

「字幕」ボタン

- 1 「字幕」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンで字幕の言語を選択します。
- 3 「◀▶」ボタンで字幕の表示または非表示を決めます。

- 初めは字幕が表示されません。
- 音声と字幕の言語は略語で表示されます。



参考

- ディスクにエンコードされた言語によっては、利用できない場合もあります。
- DVD ディスクでは32個の字幕言語まで利用できます。
- 「DVD を再生する場合に使う字幕言語の設定方法」は、ページ36の「言語設定」を参照してください。

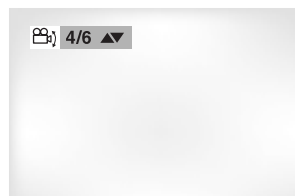
カメラアングルの変更

「アングル」ボタン

DVD の収録内容に様々なカメラアングルで撮った画面がある場合は、アングル機能が選択できます。アングル (ア) マークは画面上部の左にあります。

- 1 アが表示されていれば、「アングル」ボタンを押します。
- 2 「▲▼」ボタンで好きなカメラアングルを選択し、「決定」ボタンを押します。
- 3 表示された画面を消す場合は、「アングル」ボタンをもう一度押します。

※ 表示を消したい場合はリモコンの「クリア」ボタンを押してください。



ちょっと戻し機能

ちょっと戻し機能の使用 (DVD)

DVDソフトを鑑賞中、ちょっと見逃してしまった場面などをこの機能で見直すことができます。

- 1 「ちょっと戻し」ボタンを押すと、現在のシーンから約10秒前へ巻き戻され再生されます。

・ディスクの種類によっては、ちょっと戻し機能が使えない場合がございます。

ちょっと戻し

マーカ機能

マーカ機能でDVDやVCD (メニューオフモード)の一部を選択しておけば、後でその部分を簡単に検索することができます。

マーカ機能 (DVD / VCD)

- 1 再生中にリモコンの「マーカ」ボタンを押します。マークが表示されます。
- 2 「◀▶」ボタンでマーカをアイコンへ移動します。
- 3 登録したい画面の時に「決定」ボタンを押します。アイコンが数字に変わります (1、2、3)。
- 4 「マーカ」ボタンを押して表示を消します。



登録された画面の再呼び出し

- 1 再生中にリモコンの「マーカ」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで登録された画面を選択します。
- 3 「再生/一時停止」ボタンで登録された画面にスキップします。



応用機能

マーカの削除

- 1 再生中にリモコンの「マーカ」ボタンを押します。
- 2 「◀▶」ボタンで削除するマーカ番号を選択します。
- 3 「クリア」ボタンでマーカ番号を削除します。「マーカ」ボタンを押して表示を消します。

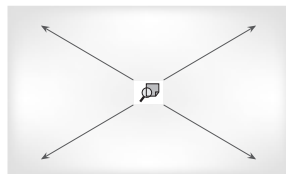
参考

- 同時に3個の画面まで登録できます。
- VCD 2.0 (「メニューオン」モード)モードの場合は利用できません。
- ディスクによってはマーカ機能が作動しない場合もあります。

ズーム&3Dサウンド機能

ズーム (DVD / VCD)

- 再生中、または一時停止モードで、リモコンの「ズーム」ボタンを押します。アイコンが画面に表示されます。
- 「▲▼」や「◀▶」ボタンでズームする画面の一部を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
 - DVD再生中に「決定」ボタンを押して、X2 / X4 / X2 一般にズームします。
 - VCD再生中に「決定」ボタンを押して、X2 / 一般にズームします。



3D サウンド機能

本機能はアナログ出力の2チャンネルステレオDVDプレーヤーを使う時に便利です。(LPCM やDTS で録画したディスクでは利用できません。「設定メニュー」で「デジタル出力」が「ビットストリーム」に設定されている場合は、3Dサウンド機能が利用できません。)

- 再生中に「3D」ボタンを押します。「3D」マークが表示されます。(「デジタル出力」がPCMに設定されているか確認します。)
- 「▲▼」ボタンで3Dサウンド機能を「入」と「切」に切り換えます。



参考

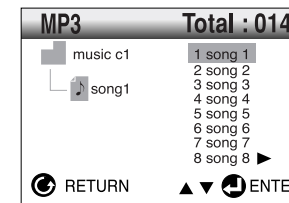
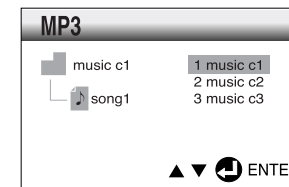
- 3Dサウンドは「ドルビーサラウンド」や「ドルビーデジタル」で録画されたディスクでのみ可能です。しかし、一部のディスクには後部チャンネルサウンド信号がありません。
- ディスクによってはズームと3Dサウンド機能が利用できない場合もあります。

MP3 再生時の注意事項

DVD プレイヤーにMP3 ディスクが挿入されると、最初のフォルダの1 曲目が再生されます。

MP3 再生機能

- 1 曲目のファイルを停止するには「停止」ボタンを押し、「リターン」ボタン(画面上では「RETURN」と英語表記)を押すと画面右側に音楽フォルダメニューが表示されます。一度に8 個まで音楽フォルダを表示できます。ディスクに8 個以上のフォルダが存在する場合は、「◀▶」ボタンを押し次のフォルダを画面に表示します。
- 「▲▼」ボタンを使って音楽フォルダを選択し、「決定」(画面上では「ENTER」と英語表記)を押します。「▲▼」ボタンをもう一度押して曲を選択します。「決定」を押すと選択された曲が再生されます。



プログラム/ランダム再生

ランダムおよびプログラムモードを切り換えるには、「モード」ボタンを押します。これらのモードに関する詳細は、22 ページを参照してください。



参考

- 再生中ファイルの横に音符が表示されます。
- 同じ曲を繰り返し聴くには「リピート」ボタンを押します。もう一度押すとリピートがキャンセルされます。

MP3 再生時の注意事項

CD-R MP3 ディスク

CD-R MP3 ディスクを使用する場合は、CD-R の使用上の注意に加えて下記の内容も参照してください。

- ISO 9660 または JOLIET フォーマットのMP3 ファイルを使用してください。
ISO 9660 フォーマットまたは Joliet MP3 ファイルは、Microsoft 社のDOS およびWindows、Apple 社のMac. に対応しています。現在この2 つが一般的に使用されているフォーマットです。
- MP3 ファイル名は8 文字以下、拡張子は ".mp3" に設定してください。
通常ファイル名は、タイトル.mp3 の形式です。ファイル名を編集する際にはスペースや (.,\,=,+)などの特別文字を含まない8 文字以下の名前にします。
- MP3 ファイルを記録(エンコード)する際には、転送レートを128 kbps以上に設定し記録してください。
MP3 の音質は基本的に記録(エンコード)時の転送レートによって異なります。オーディオCDの音質には、128kbps~160kbpsまでのサンプリングレートが必要です。ごくまれに192kbps以上の高い転送レートでより良い音質を得られる場合があります。
- 著作権で保護されたMP3 ファイルのコピーはできません。
特定の "保護された" ファイルは違法なコピーを防止するため暗号化およびコードにより保護されています。以下の種類がこのファイルに相当します: Windows Media(tm) (Microsoft Inc. の登録商標です) および SDMI(tm) (SDMI Foundation の登録商標です)。これらのファイルをコピーすることはできません。
- このDVD プレイヤーではファイルディレクトリ階層1 までのアクセスしか許可されていません。そのため以下の事に注意してください。
 - 全てのMP3 ファイルをディスクのルート下に保存する。
 - アーティスト別や音楽の種類別にフォルダを作成する。(例: クラシック、ロック、ジャズなど)
- 重要: 上記の注意事項はこのDVDプレイヤーが正しくMP3 ファイルを再生すること、または音質の保証をするものではありません。
一部のライティングソフトやドライブでMP3 ファイルがCD-R に記録された場合、これらのファイルがDVD プレイヤーで正しく再生されない場合があります。(音質の低下やプレイヤーがファイルを読み込まないなど)

設定メニュー (初期設定)

設定メニューでは、DVDプレイヤーの言語やパレンタルの等級レベルの設定、またはお使いのテレビ画面のタイプに合わせる調整ができます。

1 再生していない状態でリモコンの「セットアップ」ボタンを押します。

① 画面表示言語: 表示言語を設定します。

(36ページ参照)

プレイヤーメニューで画面に表示する言語を選択します。

② ディスクメニュー言語: メニュー言語を設定します。

(36ページ参照)

ディスクメニューでDVDのディスクメニューに表示する言語を選択します。

③ 音声言語: 音声言語を設定します。(37ページ参照)

音声メニューでサウンドトラックの言語を選択します。

④ 字幕言語: 字幕言語を設定します。(37ページ参照)

字幕メニューでディスク字幕の言語を選択します。

⑤ パレンタル: 視聴制限を設定します

(36ページ参照)

子供が暴力、アダルトなどのような不適当な映画を見ないように、親が必要なレベルを設定します。

⑥ 音声設定: 音声を設定します。(36ページ参照)

⑦ 画面設定: 画面を設定します。(16ページ参照)

表示する画面タイプを選択します。

2 リモコンの「▲▼」ボタンで項目を選択します。

3 「決定」ボタンでサブ画面へ移動します。

設定が終了したら「セットアップ」ボタンをもう一度押して終了します。

初期設定	
1 画面表示言語	日本語
2 ディスクメニュー言語	日本語
3 音声言語	日本語
4 字幕言語	自動
5 パレンタル	切
6 音声設定	
7 画面設定	
リターン	決定

参考

- ディスクによっては一部の設定が利用できない場合もあります。

言語設定

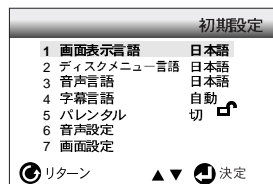
画面表示言語、ディスクメニュー言語、音声、そして字幕言語を設定すれば、再生する度に自動的に起動します。

画面表示言語を設定する

- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「画面表示言語」を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
- 「決定」ボタンを押します。

- 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。
- 「初期設定」画面を消す場合は、「リターン」ボタンを押します。

e.g 日本語設定



ディスクメニュー言語を設定する

ディスクメニュー画面のテキスト言語を変更する機能です。

- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「ディスクメニュー言語」を選択します。
 - 「決定」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
 - 「決定」ボタンを押します。
- 一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。
 - 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。

e.g 日本語設定



言語設定

音声言語を設定する

- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「音声言語」に移動します。
 - 「決定」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「日本語」を選択します。
 - 「決定」ボタンを押します。
- 基本サウンドトラック言語をディスクに録画された言語に設定する場合は、「オリジナル」を選択します。一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。
 - 「日本語」が選択されれば、画面は「設定メニュー」に戻ります。



字幕言語を設定する

- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「字幕言語」を選択します。
 - 「決定」ボタンを押します。
 - 「▲▼」ボタンで「自動」を選択します。
 - 「決定」ボタンを押します。
- 「自動」を選択すればディスクの基本言語が表示されます。一覧に言語がない場合は「その他」を選択します。一部のディスクには、初期言語として選択した言語がない場合もあります。ディスクに選択した言語が収録されていない場合はディスクで設定されている言語が選択されます。
 - 「字幕言語」が選択されると、画面は「設定メニュー」に戻ります。



参考

- 選択された言語がディスクの言語と違う場合は、以前の言語が選択されます。
- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンを押します。

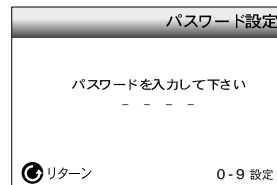
パレンタルの設定

パレンタルは、等級が指定されているDVDで利用できます。家族が見るDVDの視聴制限を管理できます。当モデルには8等級レベルがあります。

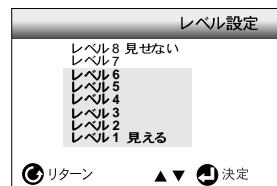
- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押して、「設定メニュー」画面を表示します。
- 「▲▼」ボタンで「パレンタル」を選択し、「決定」ボタンを押します。「パレンタル」画面が表示されます。
- パスワードを使用する場合は、「◀▶」ボタンで「はい」を選択し、「パスワード入力」画面が表示されます。
- パスワードを入力すると、確認のための「パスワード再入力」画面が表示されます。もう一度パスワードを入力します。「パレンタル」画面が表示されます。
- 等級レベルの選択方法は？
「パスワード使用」が「はい」に設定されている場合にのみ、「等級レベル」が利用できます。「▲▼」ボタンで「等級レベル」を選択して、「決定」を押します。
•「▲▼」ボタンでレベル(例えば、レベル6)を選択して、「決定」を押します。
この場合、レベル7のディスクは再生できません。
プレイヤーのロックを解除するためには、「◀▶」ボタンで「いいえ」を選択します。
- パスワードの変更
•「▲▼」ボタンで「パスワード変更」を選択すると、「パスワード変更」画面が表示されます。
•新しいパスワードを入力して、確認のために同じパスワードをもう一度入力します。

参考

- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンを押します。
- パスワードを忘れた場合は、「故障かな?と思ったら」の「パスワードを忘れた」を参照してください。



e.g レベル6に設定



音声設定

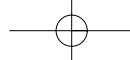
- 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで「音声設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。
- 「▲▼」ボタンで選択し、「決定」ボタンを押します。



- デジタル音声出力
PCM : PCM(2CH)に変換
48kHz/16BitのリニアPCM信号に変換して出力します。ドルビーデジタルに対応していない機器(TV、ステレオアンプ等)と接続したときに選択します。
ビットストリーム : ドルビーデジタルBITSTREAM-5.1CHにコンバートします。デジタルオーディオ出力を使用する場合はビットストリームを選択します。
注意 : デジタル出力の選択やオーディオ状態を確認します。
- DTS
入 : 接続したアンプがDTS対応の場合は設定を「オン」にします
切 : DTSに対応していないアンプと接続したときに設定を「オフ」にします。
- Dレンジ : 調整ダイナミックレンジ(小さい音と大きい音の音量差を抑えることができます)。入 : ダイナミックレンジを抑えて再生します。小音量で楽しみたい時に音が聞きとりやすくなります。
切 : DVDビデオに収録されている通りのダイナミックレンジで再生されます。
•Dレンジ調整機能は、ドルビーデジタルで収録されたディスク再生時のみ働きます。また3D機能が働いているときは働きません。
- 2倍速時通常音声
入 : 2倍速時通常音声を起動します。
切 : 2倍速時通常音声を終了します。
「設定メニュー」で2倍速時通常音声を「入」に設定すると、LPCM、DTS、またはMPEG-2で録画されたディスクからサウンドを聞くことはできません。

参考

- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンを押します。
- 本製品のオーディオ機能は、Desper Products, Inc.のSpatializer®とDesper Products, Inc.の商標であるcircle-in-square deviceの使用許可に基づいて製造されています。
- Dolby 研究所の使用許可に基づいて製造されています。「Dolby」とdouble-D表示はDolby研究所の商標です。機密で公開されていません。©1992-1997 Dolby Laboratories Inc. All right reserved.
- 「DTS」と「DTS Digital Out」は、Digital Theater Systems, Inc.の商標です。

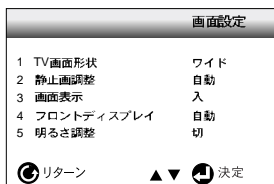


画面設定

1 再生していない状態で「セットアップ」ボタンを押します。

2 「▲▼」ボタンで「画面設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。

3 「▲▼」ボタンで選択し、「◀▶」ボタンを押します。



① TV画面形状 (16 ページ参照)

お持ちのテレビのタイプによっては、画面比率(アスペクト率)を調整する必要があります

① 4:3レターボックス:

テレビが4:3の画面であっても、16:9の画面のDVDを見る場合はこれを選択します。

黒いバーが画面の上と下に表れます。

② 4:3 パンスキャン:

テレビが4:3であっても画面全体で見る場合はこれを選択します。(映画画面の左右の一番端は削除されます。)

③ 16:9 ワイド:

ワイド画面のテレビでは16:9の画面が全部見えます。

② 静止画調整

静止画調整では画面の揺れを押さえて、小さいテキストをより鮮明に表示します。

① フィールド : 静止画状態のとき画像のブレをなくします。

② フレーム : 通常モードです。

③ 自動 : 「自動」が選択されている場合は、「フィールド/フレーム」モードを自動的に切り替えます。

③ 画面表示

画面に出る機能表示をオンまたはオフする時に使います。

④ フロントディスプレイ

製品の表示窓の輝度を調整します。

① 明 : 表示窓を明るくします。

② 暗 : 表示窓を薄暗くします。

③ 自動 : DVDを再生する場合、前面表示を自動的に薄暗くします。

⑤ 明るさ調整

画面の輝度を調整します。

参考

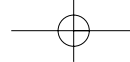
- 設定中に、「設定メニュー」画面を消したり、メニュー画面に戻る場合は、「リターン」ボタンを押します。

故障かな?と思ったら

困ったときや故障かな?と思ったらチェックしてみてください。

また、本機以外の原因も考えられます。AVアンプ、スピーカー、テレビなども合わせてお調べ下さい。チェックしても直らないときは、お買い上げの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

問題	確認項目
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードが正しくコンセントに接続されていますか?
画面が映らない ディスクトレイを 開けても出てきても 再生できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続が正しいか確認してください。 ● テレビまたはAVアンプの設定をDVD再生の設定にしてください。 ● ディスクの裏表が正しく入っているか確認してください。 ● DVDのリージョンNoが一致しているか確認してください。 ● ディスクをクリーニングしてください。 ● P8「再生できるディスクの種類」を確認して下さい。
画面が止まり、 操作ボタンを受付けない ○マークが出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 停止ボタンを押して、コンセントを一度抜いてもう一度再生してください。 ● ディスク自体がその操作を禁止しているか、プレーヤーがその操作を禁止しています。
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの電池を新しいものと交換してください。(付属の電池は保管状態などにより早めに消耗することがあります) ● 蛍光灯などが近くにありその光が表示窓に入るとリモコンが効かなくなったり、誤動作を起こすことがあります。なるべく光が入らないところに設置し直して下さい。
スピーカーから音が 出ない、歪む	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい。 ● 一時停止またはスロー再生になっていたら再生してください。 ● テレビまたはAVアンプの音量が下がっていませんか? ● DVD収録のDVDの音声はデジタル出力端子のみから出されます。DVD対応アンプまたはデコーダーのデジタル入力端子へ接続してください。DVD対応アンプなど接続されていないときはDVDソフトのメニュー画面でデジタル音声出力を切替えてください。 ● 接続端子の差し込みかたが不十分、または外れていないか確認してください。 ● 接続端子が汚れていたら拭き取ってください。
DVDとCDで音量差がある DVD再生中に画像が 乱れる、または暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。 ● 本機はコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した時、一部画像に縞模様が入る場合がありますが故障ではありません。
DVD映像をビデオに録画し たり、ビデオを通して 再生すると画像が乱れる その他	<ul style="list-style-type: none"> ● コピー禁止信号が入っているソフトを再生すると正常に再生できません。本機を直接テレビに接続してください。 ● 静電気など、外部からの影響により正常に動作しないことがあります。
パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> ● そのようなときは、電源コードを抜差しすることで正常動作する場合があります。 ● ディスクを入れずに開始から電源オンを押します。前面パネルの「停止」と「再生」ボタンを同時に3秒間押し、「メニュー言語選択」画面を表示させます。言語ボタンを選択します。リモコンの「セットアップ」ボタンを押して、「パレンタル」を選択します。「パレンタル」がロックされていれば解除します。「ダウン」ボタンで「パレンタル」を選択して、「決定」を押します。「パスワード作成」画面が表示されます。等級レベルの設定とパスワードの変更ができます。



用語説明

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。広がった臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

コンポーネント映像出力

Y/Pb/Pr の3つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、よりきれいな映像が得られる映像出力です。

視聴制限

暴カシーンなどを含むDVDの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

タイトル

DVDは大容量なので、1枚のディスクに複数の映画を記録することができます。たとえば、1枚のディスクに異なる3つの映画が記録されていますと、タイトル1、タイトル2、タイトル3に分けられます。タイトル番号を選んで再生することができます。

ダイナミックレンジ

歪みなく信号を伝送、変換する最大のレベルと雑音その他、機器の性質で制限される最小レベルの差をいいます。単位はデシベル(dB)を使います。

チャプター

DVDのタイトル内をいくつかのセクションに区切り、番号付けたナンバーのことです。本の“章”番号に相当します。ディスクにチャプター番号が記録されていると、希望の場面をすばやく見つけるチャプターサーチなどの操作ができます。

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルは最大5.1チャンネルの独立したマルチチャンネルオーディオを提供します。このシステムは、映像館にサラウンドシステムとして装備されているドルビーデジタルと同一のシステムです。



ドルビーデジタルを楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプのデジタル入力端子を接続する必要があります。

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です。(アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります。)

プレイバックコントロール(PBC)

ビデオCD(バージョン2.0)に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高/標準解像度の静止画も楽しむことができます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っています。すべてのカメラの映像が同時に送られて視聴者側で視点(カメラ)を選べれば、見たい映像が見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で自由に選ぶことができます。

マルチ音声言語

DVDの中には、1枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVDでは音声を最大8言語(8ストリーム)まで記憶することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語(サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVDでは字幕の言語を最大32カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

リージョンNo.

DVDのプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能な地域番号(リージョンNo.)が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョンNo.は「2」です。(本体後面部に表記されています。)

用語説明

DTS

Digital Theater Systemsの略です。DTSはドルビーデジタルと異なるサラウンドシステムの1つです。

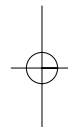
DTSディスクを楽しむには、本機のデジタル出力端子とDTS対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続する必要があります。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画圧縮の国際標準です。DVDでは、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものがあります。

PCM

Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。CDやDVDのデジタル音声はPCMです。



仕様書

使用環境	電源	AC 100V、50/60Hz
	消費電力(待機時)	12W (3W)
	重量	2.8kg
	寸法	幅 430mm × 奥行き 240mm × 高さ 70mm
	温度	+5°C - +35°C
ディスク	DVD (デジタル 多目的ディスク)	読み出し速度 : 1.1m/sec 再生時間 (単面、単層ディスク) : 135分
	CD : 12cm (コンパクト ディスク)	読み出し速度 : 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間 : 74分
	CD : 8cm (コンパクト ディスク)	読み出し速度 : 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間 : 20分
	VCD : 12cm	読み出し速度 : 1.2 - 1.4m/sec 最高再生時間 : 74分(ビデオ+オーディオ)
	ビデオ出力	映像出力 コンポーネント
S-VIDEO		輝度 : 1.0Vp-p (75Ω) 色信号 : 0.286Vp-p (75Ω)
オーディオ出力	2チャンネル	L(1L)、R(1R)
	*周波数	48kHz : 4Hz - 22kHz 96kHz : 4Hz - 44kHz
	*S/N比(デジタル音声)	110dB
	*ダイナミックレンジ(デジタル音声)	100 dB
	*全高調波歪率	0.004 %

* : 公称仕様

本機の仕様および外観は予告なく変更することがあります。

保証書とアフターサービス

1. 保証書(別に添付してあります。)

必ず「販売店名・保証期間」をご確認のうえ、購入店からお受取りいただき、よくお読みのうえ、大切に保存してください。

2. 保証期間—お求めの日から1年間

ただし、ビデオヘッド・各種ベルトは消耗部品ですから業務用にご使用の場合、あるいは特種使用の場合は、保証期間内でも「有料修理」となります。

3. 保証期間中、修理を依頼されるとき

この取扱説明書の「故障かな?と思ったときに」の項をよくお読みのうえ、再度点検をさせていただき、なお直らないときには購入店に保証書を添えて修理を依頼してください。保証書の記載内容により購入店が修理いたします。

4. 保証期間経過後、修理を依頼される時

販売店にまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理いたします。

5. 補修用性能部品の最低保有期間

このビデオの補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)は、製造打切後最低8年間保有しております。

6. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点はお買いあげの店又は、

日本サムスン株式会社
お客様ご相談ダイヤル 0120-327-527

に、お問合せ下さい。

ご連絡いただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、品番、ご購入日
- 故障または異常の内容

※ 配送、設置、接続は有料になります。
(販売店もしくはサービスセンターにご連絡下さい。)

長期間ご使用中のテレビ・ビデオは、点検を!!

愛情点検



- 電源コードやプラグが異常に熱い。
- スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 映像が乱れたり、色がきれいに出不ない。
- 画面が途中で消えたり、一部が欠けて映る。
- その他の異常や故障がある。



- ご使用中止 ●
- 電源を切り、プラグをはずして必ずサービスセンターにご相談ください。

SAMSUNGの製品は、全国どこでもアフターサービスが受けられます。お買い上げの販売店、あるいは下記の当社サービスセンターにご相談ください。

お客様ご相談ダイヤル

☎0120-327-527

受付時間 平日(土日祭日を除く)9:00~17:00
 関東: (03) 3683-0364(代) 東京サービスセンター
 関西: (06) 6641-0360(代) 大阪サービスセンター
 九州: (092) 612-3612(代) 福岡サービスセンター

日本サムスン株式会社

関東 〒103-8488 東京都中央区日本橋浜町2-31-1
 浜町センタービル16F
 TEL (03) 5641-9860 (代)

東京サービスセンター
 〒136-0072 東京都江東区大島2-32-8
 日本サムスン 東京サービスセンター
 TEL (03) 3683-0364 (代)

関西 〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-20
 ホリノビル2F
 TEL (06) 6641-0767 (代)

大阪サービスセンター
 〒556-0005 大阪府大阪市浪速区日本橋4-5-20
 ホリノビル1、2F
 TEL (06) 6641-0360 (代)

九州 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1
 日本生命博多駅前ビル11F
 TEL (092) 413-1769 (代)

福岡サービスセンター
 〒813-0034 福岡市東区多の津4-16-15
 多の津コア6号
 TEL (092) 612-3612 (代)

